

## 自己評価報告書

平成 23 年 4 月 28 日現在

機関番号：24402

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20320105

研究課題名（和文） 日本中世における「山の寺」（山岳宗教都市）の基礎的研究

研究課題名（英文） The Basic Study about 'YAMANOTERA' (Religious Cities on Mountains) in Middle Ages of Japan

研究代表者

仁木 宏 (NIKI HIROSHI)

大阪市立大学・大学院文学研究科・教授

研究者番号：90222182

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：山の寺、宗教都市、中世都市、

## 1. 研究計画の概要

(1) 全国に展開する「山の寺」（山岳宗教都市）を析出し、広く研究の俎上に載せるためデータベース化する。

(2) 「山の寺」を学際的に研究するための方法論を確立する。

(3) 如上の目的のため、各地で研究会・見学会を催すことにより、「山の寺」の分布、地域的・時代的特徴などを把握する。

(4) 市民向けの講演会・シンポジウムなどを開催し、「山の寺」の認知度を上げることで、文化財としての保存・活用の道筋をつける。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 研究会・見学会やそれともなうシンポジウムなどを、平成 20 年度、21 年度、22 年度それぞれ 3 回ずつ開催し、毎年約 100 名前後の参加者を得た。

会場は、福島県、栃木県、静岡県・愛知県、大阪府・和歌山県、鳥取県、愛媛県、福岡県におよぶ。参加者は、府県市町の文化財関係者を中心に、大学教員・学生、一般市民におよぶ。

(2) 研究会・見学会を通じて、全国の研究者のネットワーク化を進めた。

3 ランクのメーリングリストを整備し、内部連絡だけでなく、全国の「山の寺」情報の広報・発信も心がけた。

(3) 「山の寺」研究の方法論の提案、相互討論を繰り返している。

発掘調査にもとづく考古学的な研究のみならず、城郭・縄張り論、寺院組織論、歴史地理学的考察、寺院法令研究など、多様かつ学際的な視角から研究を進めている。

(4) 「山の寺」研究の意義（中間総括）

「山の寺」は、戦国期の城郭・城館に先行し

て日本全国にあまねく分布しており、そうした見地から、中世の地域社会像を如実に物語る貴重な素材といえる。そこで見えてくるのは、武家ではなく、寺社、信仰の世界である。しかも、「山の寺」が形成する地域社会は、武家の地域形成が最終的に近世につながるのに対し、そうではない社会であり、中世特有の地域であるといえる。

現在、「山の寺」には、建造物・文書・絵画・仏像など、多様な文化財が残されている。実際、世界遺産暫定リストへの記載候補地に多くの「山の寺」が立地している。地域に密着して大切にされているものが多いことから、「山の寺」をめぐる文化財の保存・活用は、今後のまちづくり、地域の活性化に貢献することだろう。

## 3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

（理由）

「山の寺」の認知の広がり、方法論の確立にむけた作業は計画以上に進んだ。但し、データベース化の作業はいまだ十分ではない。

## 4. 今後の研究の推進方策

最終年度にあたる平成 23 年度には、研究会・見学会（2 回）と総括シンポジウムを開催し、学際的研究としての実をあげる。また、データベースを完成し、「山の寺」の存在を広くアピールする。

## 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 4 件）

- ①上川通夫、普門寺（豊橋市）所蔵永暦二年永意起請木札について、愛知県史研究 14、pp. 101-115、2010 年、査読無
- ②仁木宏、近江国石寺『楽市』の再検討、都市と城館の中世—学融合研究の試み—（高志書院）、pp. 87-103、2010 年、査読無
- ③仁木宏、中世都市社会の変容—町形成以前の京都—、都市の歴史的形成と文化創造力、pp. 47-57、2010 年、査読無
- ④仁木宏、美濃加納楽市令の再検討、日本史研究 557、pp. 1-25、2009 年

〔学会発表〕（計 2 件）

- ①仁木宏、戦国時代敏満寺の繁栄、シンポジウム「最盛期敏満寺を復元する」、2010.11.6、あけぼのパーク多賀
- ②仁木宏、都市史研究から見た石見銀山、2009 年度島根史学会大会、2009.9.5、島根県民会館

〔図書〕（計 2 件）

- ①下坂守、吉川弘文館、京を支配する山法師たち—中世延暦寺の富と力、2011 年、237p
- ②仁木宏、思文閣出版、京都の都市共同体と権力、2010 年、311p

〔その他〕

ホームページ

<http://ucrc.lit.osaka-cu.ac.jp/niki/yamanote-ra/index.html>